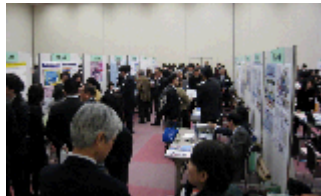


積極的な意見交換と情報発信

参加者で賑わう会場



本学は、質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)において選定された取組内容である「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善」大垣市との連携による子育てサロンの運営を通じた体験学習」をポスターセッションで発表しました。多くの方々が本学の取組に興味を持っていただき、広く知ってもらう機会となりました。

平成二十年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」が、一月十二日(月・祝)・十三日(火)にパシフィコ横浜で開催され、本学も参加してきました。

このフォーラムは、国公私立大学を通じた大学教育改革を積極的に支援する各プログラムに選定された取組が一堂に会し、積極的な意見交換や情報発信を行うことにより、その取組の教育的財産の共有を図るものです。フォーラムは、「基調講演」、「パネルディスカッション」、「各プログラム別の分科会」及び選定された取組を紹介する「ポスターセッション」から構成されます。



ポスターセッションにて意見交換をする職員

GP通信

発行

大垣女子短期大学

GP 専門部会



教育GPロゴマーク

平成20年度 文部科学省 教育GP



大垣女子短期大学

地域の子育て施策を活用した教育方法の改善

この教育GPの取組をきっかけとして
土壌である大垣女子短期大学から
若い学生達がいつそう生き生きと
若葉のように芽生えていってほしい
という期待が込められています。

デザイン美術科教員作成

短期大学設置基準の改正について

平成十七年一月の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」において、平成十九年七月三十一日付で短期大学設置基準の改正が行われました。

関の一つとして、また、地域と連携協力して多様な教育機会を提供する場として、新時代にふさわしい使命・役割を果たすことがますます期待されている。

今回の改正においては、①大学学部、短期大学、高等専門学校における教育力の向上を図る。

(参考文献・文部科学省 高等教育局大学振興課(2007)「解説 大学設置基準等の一部改正について」、『大学と学生』平成

②基準をより明確化し、大学教育の質を保証する。といった二つの観点から改正が行われました。

短期大学は、ユニバーサル段階の身近な高等教育機関

短期大学は、ユニバーサル段階の身近な高等教育機関

短期大学は、ユニバーサル段階の身近な高等教育機関